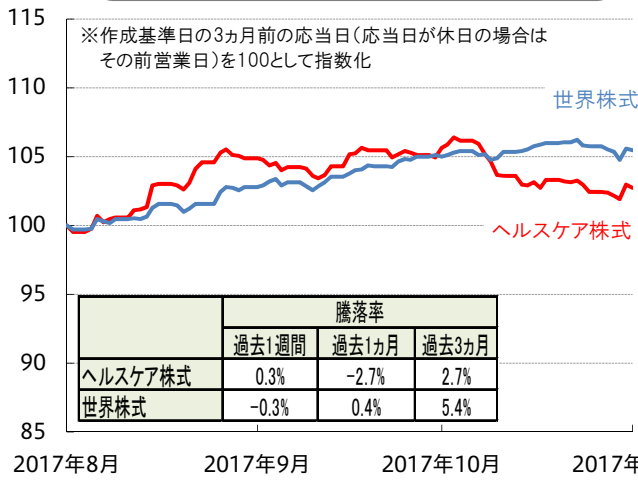


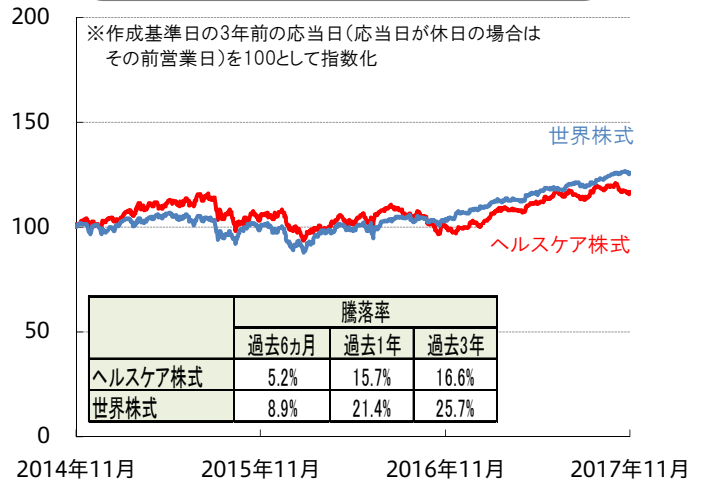
# ヘルスケア・バイオ株式マーケット関連情報

## ヘルスケア・バイオ株式マーケット情報

株価の推移と騰落率(過去3ヵ月)



株価の推移と騰落率(過去3年)



ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)

各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)

銘柄名	騰落率	ワールド	ヘルスケア	エネルギー	素材	資本財	消費財	生活必需品	金融	情報技術	電気通信サービス	公益	
テバファーマスーテカル・インダストリーズ	17.5%												
Envision Healthcare Corp	16.4%												
ボナックス	12.2%												
パターソン	8.0%												
ConvaTec Group PLC	7.9%												
		1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想	19.3	18.2	266.7	51.6	19.8	13.5	12.2	14.8	22.9	17.4	13.9
		今期予想PER(倍)	17.8	17.4	25.7	16.9	18.1	17.8	20.6	14.2	20.0	14.2	16.8
		3期先予想PER(倍)	15.0	15.0	17.7	15.0	15.6	14.7	17.4	11.7	16.8	12.2	15.6

(出所)Bloomberg

\*「1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想」の計算において、実績EPSが非常に小さい場合、1株当たり利益成長率が非常に高く表示される場合があります。

### ■マーケット・コメント

・先週(2017/11/13~2017/11/17)は、世界株式は下落した一方、ヘルスケア株式は上昇しました。世界株式は、中国の低調な経済指標や、米国税制改革法案を巡る先行き不透明感などから下落しました。セクター別では、エネルギーや資本財・サービスなどが下落しました。  
 ・ヘルスケア株式は、前週まで下落していたことなどから反発し、上昇しました。ライフサイエンス・ルーツ/サービスやヘルスケア機器・用品などのセクターが上昇しました。

### ■ヘルスケア・バイオ関連トピック

#### 「医薬品業界、経営資源を新薬開発に集中」

高額薬の登場や高齢化による社会保障費の増加に歯止めをかけるため、厚生労働省はジェネリック医薬品(後発医薬品)の普及拡大を目指し改革を進めています。17日に報じられた新たな改革案には、特許が切れた先発医薬品について薬価を大幅に引き下げることができる条件等が示されたほか、画期的な新薬についても価格加算制度の対象を絞込むことや、2021年度からは2年に1回だった価格改定を毎年実施するなど薬価抑制をねらう内容となっています。一方、製薬会社では、価格低下圧力のある特許切れ医薬品事業から新薬開発へ経営資源を集中させる動きが活発化しており、2016年には武田薬品工業や塩野義製薬が特許切れ医薬品事業を売却したほか、今月14日には中外製薬も特許切れ医薬品事業の売却に向けて検討に入ったと報じられました。

(出所)各種報道を基に三菱UFJ国際投信作成

「株価の推移と騰落率」ヘルスケア株式:MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックス、世界株式:MSCI ワールド・インデックスはいずれも税引き後配当込み、トータルリターン(米ドルベース)。また、作成基準日のそれぞれ1週間前、1ヵ月前、3ヵ月前、6ヵ月前、1年前、3年前の応当日(応当日が休日の場合はその前日)と比較しています。  
 「ヘルスケア株式の上昇率上位5銘柄(前週末比)」MSCI ワールド・ヘルスケア・インデックスの構成銘柄のうち、作成基準日と作成基準日の1週間前応当日(応当日が休日の場合はその前日)が比較可能な銘柄の騰落率上位5銘柄を集計。  
 「各業種の1株当たり利益(EPS)成長率と株価収益率(PER)」MSCI ワールド・インデックス(米ドル建て)及びMSCI ワールド・業種別・インデックス(米ドル建て)の1株当たり利益(EPS)を使用。予想値はBloombergのものを使用。※PER(倍):株価収益率。※1株当たり利益成長率(年率、%)実績→3期先予想:作成基準日の前年の1株当たり利益(EPS)に対する現在の会計年度の3期先の予想EPSの伸び率を三菱UFJ国際投信が年率換算。  
 ※3期先予想PER(倍):現在の会計年度の3期先の予想EPSと作成基準日の株価を基に三菱UFJ国際投信が算出。

#### 本資料で使用している指数について

●MSCI ワールド・インデックス及びその業種別・インデックス(出所:MSCI)。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、為替・税金・手数料等を考慮しておりません。個別銘柄の推奨を目的とするものではありません。

#### 本資料のご利用にあたっての注意事項等

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJ国際投信が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。